



御田小 研究だより

平成27年10月16日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第2回研究授業報告

9月10日(木) 5校時 6年2組

16日(水) 5校時 6年1組

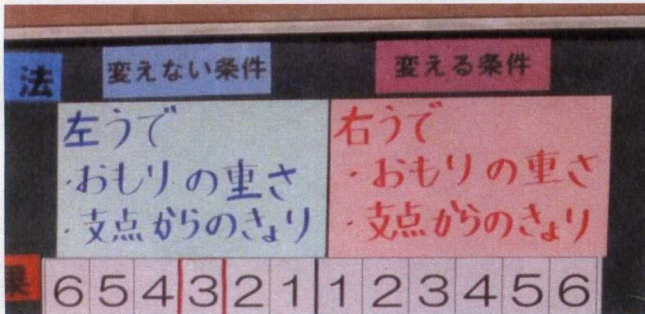
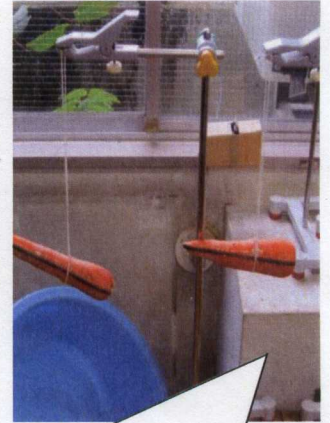
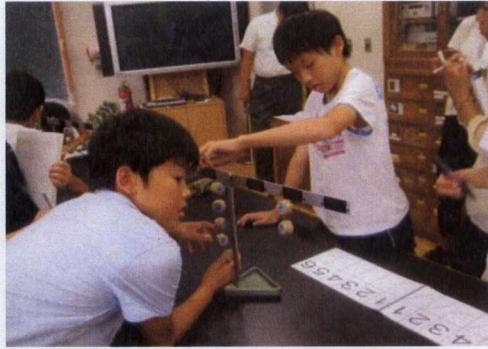
(授業者 古屋 博大)

<理科> 単元名「てこのはたらき」

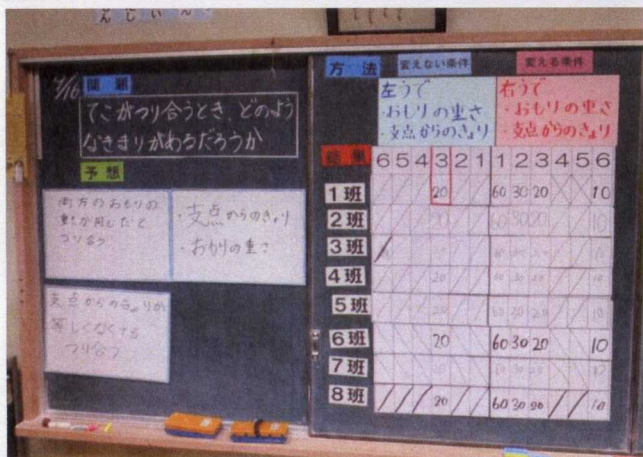
<単元でねらっていること>

○力を加える位置や大きさなどを変えて、てこの仕組みやはたらきを推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、てこを使って物を持ち上げ、棒が水平になるときの規則性やてこのはたらきについての見方や考え方を養う。

【ユニバーサルデザイン化の視点から】



支点から左右がつり合った状態で吊るされたにんじんと、支点から左右がつり合わない状態で吊るされたにんじんを比べ、「つり合う」ことに興味をもちました。(視覚化)



実験用てこの左側を変えない条件として固定し、右側の条件を変えることで、つり合う位置を見つけたり、てこの規則性に気付いたりすることができました。(焦点化)

ノート用の表を配ったり、班ごとの結果を黒板に掲示したりしたことで、全体で結果を共有しやすくなりました。(共有化)

<授業を終えて>

この単元では、てこのはたらきや規則性について調べました。大きなてこを使って約8kgのペットボトルを持ち上げたり、てこ実験機を使って調べたりしたことで、意欲的に実験に取り組み、てこのはたらきや規則性について実感しながら理解することができました。今後も、実際に体験することを重視した学習を工夫し、指導していきます。